



## ご挨拶

学校教育目標：心豊かに、たくましく社会を生き抜く力の創造  
校訓：挑戦・絆・創造  
生徒に付けたい力：「コミュニケーション力」「表現力」「忍耐力」

福山市立城西中学校長の関藤一智です。本年度も、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、2020年度（令和2年度）がスタートしました。保護者・地域の皆様には、日頃から本校の教育活動の充実・発展に、多大なご支援・ご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

本年度は、例年と異なり、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、長期の臨時休業とそれに続く春休み明けにスタートすることとなりました。何よりも、生徒の健康・安全を第一に、万全な感染症対策を心掛けていきたいと考えています。

具体的には、毎朝の体温と体調のチェック、手洗いや咳工チケットの徹底、多くの生徒が手を触れる箇所の消毒を行うとともに、発熱や風邪の症状が見られる生徒については、自宅で休養してもらうなどの対応をしていきます。

また、校内では、集団感染のリスクに対応するため、三つの「密」  
(密閉空間・密集場所・密接場面)を徹底的に避け、

- ① 換気の悪い密閉空間にしないための換気の徹底
- ② 多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮
- ③ 近距離での会話や大声での発声をできるだけ控える



ということを徹底し、保健管理や環境衛生を良好に保つよう十分に配慮し、教育活動を進めていきたいと思います。

その上で、学校教育目標「心豊かに、たくましく社会を生き抜く力の育成」、校訓「挑戦・絆・創造」、また、広島県教育委員会から示した15歳の生徒の付けさせたい力「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」を踏まえ、

- 自分自身を理解し、お互いを認め合い、高めあう生徒
- 自ら疑問や課題を見つけ、解決に向け、意欲的に考え、学び続ける生徒

を育成していきたいと考えています。

子どもたちがこれから生きていく時代は、少子高齢化、グローバル化などに加え、AI等の先端技術が高度化し、変化が激しく、不透明・不確実な時代になると言われています。

子どもたちが、将来、こうした変化の激しい社会をたくましく生き抜いていくためには、まず、自分の長所や短所、好きなもの、得意なものなど、自分自身を理解し、その上で、自分の未来・将来について考え、切り拓いていく必要があります。



また、グローバル化が進み、多様な人々が共に生活する社会においては、一人一人の個性を受け入れ、尊重し、認め合うことが大切です。その意味で、本校の生徒には、お互いを認め合い、高めあうことができるようになって欲しいと思っています。

その上で、学習や活動、生活において、積極的に疑問や課題を見つけ、その解決に向けて、意欲的に自分で、そして仲間とともに考え、粘り強く取り組んでいってもらいたいと思います。この自分で考え、判断し、行動していくことこそが「主体的な学び」であり、学校生活全体を通じて、学ぶ楽しさ、学ぶ喜びを実感できるよう取り組んでいきます。

「この坂道で強くなる」プロジェクトにも、引き続き取り組みます。城西中に登校するには長い急な坂道を登ってこなくてはなりません。これをマイナスと捉えず、プラスに考え、「自分を鍛える」精神を育んでほしいと考えています

職員も「やる気」を高め、全力で取り組んでまいりますので、一層のご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。

福山市立城西中学校長 関藤 一智